

12月6日

第374回 市議会定例会

橋詰壽人市長は各議案の提案説明に先立ち、「『昔のようなにぎわいを取り戻してもらいたい』と、いつも『ごめん』を気にかけていた名誉市民の『やなせたかし』先生が10月13日に亡くなりました。心からお悔やみを申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。ハガキでごめんなさい全国コンクールの発案や、やなせたかしロードの設置協力など『ごめん』のブランド化と地域の活性化にご尽力をいただいた先生のご功績には、心から感謝しています。

国民の生活に大きな影響を及ぼすＴＰＰ交渉は、年内妥結を目標に進められています。政府は、農産物の重要５品目を『聖域』とし、関税撤廃はしないという方針でしたが、交渉過程で586品目に細分化し、関税維持を撤廃できるかどうかの検討に入りました。自民党は、『重要５品目を“聖域”として守る』、『確保できない場合は脱退も辞さない』と選挙公約に掲げていました。安倍首相は『公約をたがえてはならない』とする一方『国益を追及する政府の方針に何ら変更はない』と強調しています。説明責任

を果たし、交渉内容や進捗状況を明らかにするとともに、慎重に交渉してもらいたい。高知県議会９月定例会で『重要５品目の聖域すら守れないＴＰＰ交渉参加から撤退することを求める意見書』が全会一致で可決されました。第１次産業が基幹産業である高知県には、壊滅的な影響があり、本市の産業振興にも大きな影響を与える問題です。政府は、大規模農家への集約を図ることを念頭に、減反政策の廃止を検討しています。本市では、ＴＰＰ問題と併せ、小規模農家が多い本市の農業の将来を見据え、日本の農業を守り育成することを主眼として、地域経済を発展させるよう望みます。

南海トラフ地震特措法が11月22日に成立し、避難場所や避難経路の整備、津波避難対策特別強化地域の指定、集団移転に関連した福祉施設等の高台移転の支援などが盛り込まれました。今後制度設計される支援策を検討し、地震・津波対策に活用したいと考えています」と述べた後、主要な課題について報告しました。（内容は、あらまします）

大規模災害時対策

津波避難タワーなどの進捗
命山構想の10月末現在の進捗状況は、津波避難タワー14基は平均約27％、三和コミュニティセンターは約12％、避難路などは22カ所中17カ所、大湊および三和小学校の外付け階段の整備は完了しています。高知東部自動車道路への避難路進入口4カ所は平成26年度中に整備する予定です。



建設中の「津波避難施設大湊小南タワー」

下水道業務継続計画を策定
高知県下水道地震・津波対策検討委員会が下水処理場の津波シミュレーションによる被害想定の結果などを検討し、11月に高知県下水道地震・津波対策ガイドラインを策定しました。そのガイドラインに基づき、本市の下水道総合地

震対策計画や下水道業務継続計画を策定します。

応急給水活動協力協定締結
大規模災害時の速やかな応急活動を図る目的で、10月22日に市内の指定給水装置工事事業者や検針員に給水タンク運搬や応急給水作業などの応急活動の協力について説明を行い、順次協定を締結していきます。

高知県緊急消防援助隊受援・応援合同訓練を実施

南海トラフ巨大地震の発生を見据え、高知県内15全消防本部などによる初めての高知県緊急消防援助隊受援・応援合同訓練が9月27・28日に高知市で行われました。市消防本部からは消火部隊として、応援訓練に参加し、野営訓練・消火訓練などの連携活動を実施し、緊急消防援助隊高知県隊編成時における派遣隊員の連携強化を図りました。今後は、応援を要請する場合に備え、本市での受援訓練も必要であると考えています。

広域福祉避難所の設置・運営の研修や訓練
10月10・11日に被災地の福祉避難所の設置・運営につい

て、広域福祉避難所協定を締結した事業者などとともに、宮城県石巻市の福祉避難所に視察研修を行いました。12月13日に福祉避難所協定締結施設や今後協定締結を予定している福祉施設などを対象に講演会を実施し、2月には広域福祉避難所における情報伝達を中心とした避難訓練を予定しています。

航空機事故を想定した訓練
10月31日に航空機事故を想定し、高知空港事務所に合同対策本部の設置・運用、情報収集・伝達、関係機関の参集、消火活動や被災者誘導、医療救護活動など多岐にわたった総合訓練が実施されました。

ねりんピック開催

卓球とサッカー競技
ねりんピックよさこい高知2013高知大会は、10月26日から開催され、27・28日に卓球競技がスポーツセンターで、サッカー競技が吾岡山文化の森スポーツ広場で行われました。両競技とも熱戦が繰り広げられ、全国各地からの参加者にとって、思い出深い大会になりました。

中山間地域の交通対策

スクールバスを活用した実証運行
白木谷および八京地区で、スクールバスを活用したコミュニティバスの実証実験を10月1日から実施しています。10月の運行は、10日間37便、乗車人数は22人、平均乗車率0.6人で、運行開始時から徐々に利用者も増えています。利用者からは「大変助かった」「との声もあり、今後は、乗車人数の推移を見て、より効果的な公共交通となるよう検討します。

地上デジタル放送難視聴対策

ワンセグ対策の実施
地上デジタル放送移行に係る難視聴対策は、十市東組テレビ共聴組合の工事が終了し、地デジ放送移行による共聴施設整備事業は完了しました。この他、共聴施設整備および高性能アンテナ対策による難視聴解消が困難な世帯に対し、総務省がワンセグ対策事業を実施することになりましたので、対象の2世帯への説明などの協力を行います。

地球温暖化・環境問題

園児のぬり絵やパネル展示
9月17日から20日までの間、NPO法人環境活動支援センターえこらぼの協力により、庁舎1階ホールで、ちびばな幼稚園児のエコドライブに関するぬり絵や、地球温暖化に関するパネルを展示し、エコドライブや地球温暖化に関するビデオを放映しました。来庁者に地球温暖化や環境問題に興味を持ってもらうよい機会となりました。今後も、さまざまな方法で広く啓発活動を行います。

米づくり親子セミナー

棚田での稲刈り体験
JA南国市主催の第17回米づくり親子セミナーの稲刈り体験が10月7日に上倉地区の棚田で行われました。日章および大湊小学校の児童が、収穫の喜びを親子で体験しました。児童らが農作業を通して、景観・環境保全を含めた棚田での稲作農業の位置付けと重要性を学習するとともに、自分たちが食べている学校給食米の生産現場を親子で確認し、生産農家との交流を通して農

広域健診・検診

乳幼児健診・がん検診
日頃から乳幼児健診の受診勧奨に努めています。受診率向上が課題となっています。12月から2月にかけて、県が健診未受診児を対象に、県下5カ所で広域健診を協働して実施します。がん検診についても、本年度の未受診者がこの市町村でも受診できるよう、広域がん検診を県下22カ所で実施します。

自由研究や部活動の成果

全国中学駅伝への切符など
第65回高知県小中学生科学研究発表会で、最優秀の大倉理科研究賞を香長中学校2年生の石川瑞穂さんが受賞しました。第20回県中学校サッカー選手権では、北陵中学校が初のベスト4に入りました。11月17日に行われた第64回高知中学校駅伝競走大会では、香長中学校女子が7年ぶり8度目の優勝を果たし、全国中学駅伝への切符を手に入れました。男子は、北陵中学校が最後まで優勝を争いましたが、惜しくも2位となりました。

貫之の書「月」字の碑

除幕式と門出のまつり
第30回土佐日記門出のまつりが、11月10日に開催されました。式典の前に紀貫之の書とされている「月」字の碑の除幕式が行われ、式典では国府小学校児童による土佐日記朗読奉納など、土佐日記を記した紀貫之を偲ぶとともに、その功績が顕彰されました。

畜産フェスティバル

乳牛の飼育審査
第21回南国・香美・香南畜産フェスティバルが11月2日に高知農業高校放牧場で開催されました。当日は、3市の酪農家が日頃から入念に手入れをしている乳牛の飼育の審査が行われ、本市の酪農家が5部門中2部門で最優秀賞を獲得するとともに、ベストブライ賞（乳器賞）にも輝きました。